

Vital sign

RIME モデルは？ R ___ I ___ M ___ E ___ :計 100 点:Reporter/Interpreter/Manager/Educator

血圧

- ① 収縮期が _____ 以上であれば、「高い」と感じ、臓器障害の有無を念頭においてチェックする
臓器症状とは、具体的には _____
また、 _____ などのときは血圧があがるので、そういった状況の有無もチェックする
過去によく用いられていた _____ の _____ 投与は添付文書にも「用いないこと」となっている
- ② 臥位での血圧が正常範囲内であっても、総合的に考えると異常の可能性のある病態は？
 _____ _____
- ③ 自律神経障害を疑ったら、ある疾患を念頭において問診・診察する
 _____ _____
- ④ 脱水を疑った時に、チェックする所見には _____ などがある。
また普段の体重を確認することも重要である
- ⑤ 脈圧って何ですか？
脈圧が狭い場合、 _____ の状態を心配し、他の Vital sign も慎重にチェックする
脈圧が広い場合、再現性があるかどうかをチェックし、病態(_____)にあうか、チェックする
- ⑥ 「血圧が高いけど、一生お薬、飲なあかんやろ？」って聞かれたら？
- ⑦ 安定期の血圧が高い患者さんで、気をつけて再確認することは？
 カルテで: ベッドサイドで:
- ⑧ 血圧が低かったら、 _____ になっている可能性を考え、他の Vital sign も慎重にチェックする
 脈拍は？ 呼吸数は？
 意識は？ 他のチェックポイントは？
 医師に報告のうえ、次に起こす行動の予想は？

脈拍

- ⑨ 脈は〇〇(数字)/分 で止めずに、「reg.」「reg. irreg.」「irreg irreg もしくは _____」と記載する
上記の脈の違いは？(代表的な不整脈の名前を記載)
 regularly irreg.: irregularly irreg.:
また irregularly irreg.のときは、 _____ と _____ で違いが出ていることも聴診器で確認する
- ⑩ 脈の触知を意識するのは、 _____ の前後や、末梢が _____ ときに左右差を含めて確認する

⑪ Monitor をつけておくべき患者さんには、呼吸・循環器疾患がある・全身状態が悪い・主治医が必要と判断した場合に加えて、_____ などがある

呼吸

⑫ 呼吸数が、_____ 回/分以上のときには慎重に、_____ 回/分以上のときには緊急性を要する可能性を意識して、他の Vital sign や呼吸状態を意識する

⑬ 呼吸数が少なくて問題になるのは、_____ を投薬中のときが主体である。

ときどき、_____ 呼吸の方(元疾患は _____ など)では呼吸数の変動や無呼吸を呈することがあるので、確認する

⑭ SpO2 93%は悪いでしょうか？

⑮ SpO2 が正常範囲内でも酸素投与をする病態として、_____ などがある。

_____ 感を呈する患者さんでは、SpO2 が正常範囲内でも何らかの対応をする必要性が高いことを認識する

⑯ 二酸化炭素が貯留する病態(_____)では SpO2 と酸素投与量の関係に気をつける。

一般的に長期間低酸素状態にさらされている人は、SpO2 が低くても適応できるようになっており、目標の SpO2 は _____ %前後であることが多い。

⑰ 二酸化炭素が貯留しているかどうかは、_____ でしかわからないが、貯留している可能性が高いことは、_____ などの所見から推定される。

なお、喫煙は _____ 依存症という「病氣」・喫煙者は「患者」という学会の声明もあり、「止めて下さい」だけではなく、積極的な禁煙支援を行うスキルを持つ必要性がある。

⑱ いびきは _____ を疑う1つの所見であり、_____ や _____ の必要性を含めて検討する

体温

⑲ 入院患者さんの体温が急に上がったときには、_____ の有無を確認し、_____ 培養の _____ セット採取の必要性や感染源に応じた培養提出が必要かどうか、意識する。特に、各種の管がある場合には注意が必要である。

⑳ 体温が高くなくても血液培養を取る病態には _____ などがある

意識

㉑ 意識低下の患者さんを診た場合には、_____ のチェックに含めて _____ (左右差と縮瞳)を診る
意識レベルの評価は…

21 意識レベル低下の一因に _____ があり、糖尿病の罹患歴や内服の有無などをチェックしながら、デキスターチェックの準備、_____ の投与の指示が出る可能性を意識する。

お疲れ様でした！